

グッドステージレポート

Good
Stage

投資型年金

グッドステージ

新変額個人年金保険

2025年10月発行

最終ページには「ご負担いただく費用について」、「投資リスクについて」等が記載されておりますので、必ずご確認ください。



東京海上日動あんしん生命

ご契約者さまへ

当資料は、ご契約者さまに、各特別勘定の運用状況、資産の内訳等をお知らせするための資料です。
当資料には「ご契約状況のお知らせ」とは異なり、個々のご契約の運用状況は掲載されておりませんので、ご了承ください。

■積立金の移転（スイッチング）について

- ・積立金の移転（スイッチング）は、すべての特別勘定の積立金をご指定の特別勘定の割合に再配分するしくみです（一部の特別勘定の種類や割合を変更するものではありません）。
- ・複数の特別勘定を組み合わせることもできます。1%単位で、合計が100%になるようにご指定ください。

ご 注 意

リバランス（定期的に積立金の配分を自動調整する機能）の指定割合を変更いただくには、「リバランスの設定・解除」のお手続きも必要です。

■積立金の移転（スイッチング）の実行日について

「ユニットプライスの評価基準日」が異なる特別勘定間の積立金の移転（スイッチング）では、移転手続きする契約の移転前および移転後のすべての特別勘定のうち、最も遅い日が適用されますのでご注意ください。

種類	特別勘定の名称	ユニットプライスの評価基準日
株式型	日本株式（A）	会社受付日
	日本株式（B）	
	日本株式（D）	
	世界株式（A）	
債券型	世界債券（A）	会社受付日の翌営業日
総合型	世界バランス（A）	
金融市場型	マネー（A）	会社受付日

■積立金の移転（スイッチング）のお手続きの方法について

積立金の移転（スイッチング）はインターネットサービス「ご契約者さま専用ページ」によるお手続きが可能です。
また、書面（請求書）によるお手続きも可能です。

●インターネットサービス「ご契約者さま専用ページ」：<https://fl.tmn-anshin.co.jp/>

当社ホームページの「変額保険・変額年金保険情報サイト」内の「ご契約者さま専用ページ」よりお手続きください。

お手続きが可能な時間：9：00～21：00

会社受付日：お手続きいただく時間帯に応じて下表の日を会社受付日として取り扱います。

当社が受付を完了した時刻	会社受付日
平日 15：29までに受付を完了した場合	当日を受付日とします。
平日 15：30以降に受付を完了した場合	翌営業日を受付日とします。

（注）土曜、日曜、祝日および年末年始は、翌営業日を会社受付日として取り扱います。

「ご契約者さま専用ページ」は、当社ホームページからご登録（※）いただけます。

ご登録後、ログインに必要なID・仮パスワードを簡易書留でお送りします。

<https://fl.tmn-anshin.co.jp/>

（※）ご契約者さまが法人または未成年の場合は、書面（請求書）によるお手続きが必要です。

●書面（請求書）によるお手続き

巻末に記載のフリーダイヤルへご連絡くださいますようお願い申し上げます。

目 次

種類

特別勘定の名称

掲載ページ

株式型

日本株式(A)

3p

■ 投資対象となる投資信託：フィデリティ・日本成長株・ファンドVA2

- ☐ 運用会社：フィデリティ投信
- ☐ 資産運用関係費用(年率)^{*1}：1.353%(税込)程度
- ☐ 円建/残高約144.8億円

株式型

日本株式(B)

4p

■ 投資対象となる投資信託：ダイワ・バリュー株・オープンVA(底力VA)

- ☐ 運用会社：大和アセットマネジメント
- ☐ 資産運用関係費用(年率)^{*1}：1.309%(税込)程度
- ☐ 円建/残高約17.5億円

株式型

日本株式(D)

5p

■ 投資対象となる投資信託：ダイワ・ジャパン・オープンVA(D.J.オープンVA)

- ☐ 運用会社：大和アセットマネジメント
- ☐ 資産運用関係費用(年率)^{*1}：1.309%(税込)程度
- ☐ 円建/残高約3.2億円

株式型

世界株式(A)

6p

■ 投資対象となる投資信託：大和住銀／T.ロウ・プライス外国株式ファンドVA

- ☐ 運用会社：三井住友DSアセットマネジメント
- ☐ 投資顧問：ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク
- ☐ 資産運用関係費用(年率)^{*1}：1.485%(税込)程度
- ☐ 円建/残高約52.6億円

債券型

世界債券(A)

7p

■ 投資対象となる投資信託：JDFワールド・ボンド・ファンド(為替ヘッジなし)

- ☐ 運用会社：ブラックロック・ジャパン
- ☐ 資産運用関係費用(年率)^{*1}：0.528%(税込)程度
- ☐ 円建/残高約14.7億円

総合型

世界バランス(A)

8p

■ 投資対象となる投資信託：フィデリティ・バランス・ファンドVA2

- ☐ 運用会社：フィデリティ投信
- ☐ 資産運用関係費用(年率)^{*1}：最大年率1.35%(税込)程度
- ☐ 円建/残高約4.7億円

金融市場型

マネー(A)

9p

■ 投資対象となる投資信託：マネー・オープン他

- ☐ 運用会社：大和アセットマネジメント
- ☐ 資産運用関係費用(年率)^{*1}：各月ごと^{*2}に決定

※残高は2025年8月末現在

^{*1} 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。

また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

^{*2} 各月の前月の最終5営業日における無担保コール翌日物レートの平均値に0.55(税込)を乗じて得た率とします。ただし、当該率が年0.99%(税込)を超える場合には、年0.99%(税込)の率とします。

● 特別勘定について

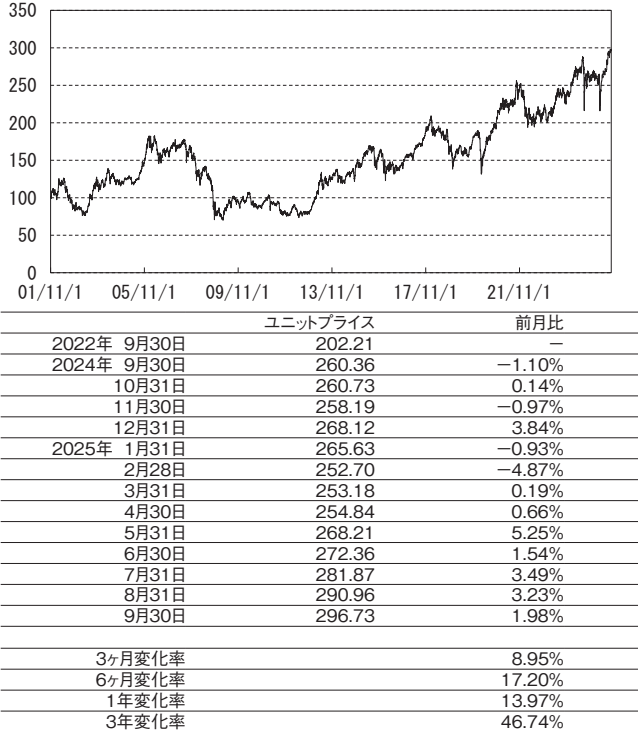
基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日
【資産分類】日本株式
【運用方針】
日本の株式の中で、将来高い成長が期待できる銘柄を厳選して分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。
【投資対象となる投資信託】
フィデリティ・日本成長株・ファンドVA2

■特別勘定 純資産総額の内訳（単位：百万円）

資産等の種類	金額	構成比
現預金	257	2.3%
有価証券等		
フィデリティ・日本成長株・ファンドVA2	11,103	97.7%
その他	—	—
資産合計	11,361	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	11,361	100.0%

■ユニットプライスの推移



※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

● 投資対象となる投資信託について

フィデリティ・日本成長株・ファンドVA2の基本情報

【運用会社】フィデリティ投信
【運用対象】日本株式
【ベンチマーク】TOPIX（配当金込）

運用状況

■市場別構成比（2025.8末現在）

市場	構成比
東証プライム	97.5%
東証スタンダード	0.9%
東証グロース	0.4%
その他市場	—
現金・その他	1.2%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■上位5業種構成比（2025.8末現在）

業種	構成比
1 電気機器	21.2%
2 銀行業	11.1%
3 建設業	6.8%
4 輸送用機器	6.6%
5 小売業	5.9%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄（2025.8末現在）

銘柄名	業種	構成比
1 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	5.5%
2 ソニーグループ	電気機器	4.8%
3 日立製作所	電気機器	4.4%
4 トヨタ自動車	輸送用機器	3.4%
5 東京海上ホールディングス	保険業	3.1%
6 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.0%
7 伊藤忠商事	卸売業	3.0%
8 リクルートホールディングス	サービス業	2.1%
9 キーエンス	電気機器	2.0%
10 きんでん	建設業	1.8%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 182）

【運用会社による投資信託へのコメント】（2025.9末現在）

当月の東京株式市場は、利下げ期待を背景とした米株高や自民党新総裁への期待、人工知能（AI）の需要拡大といった好材料を追い風に力強く上昇しました。月初こそ米中間の半導体開発競争への懸念から軟調に始まりましたが、トランプ米大統領による自動車関税引き下げの署名や石破首相の辞意表明を受けた次期政権への期待を手掛かりに、株価は上昇基調へ転じました。米国で利下げ期待が高まる中、米クラウド大手の好決算を受けてAIの需要拡大が意識され、関連銘柄を中心に買いが広がると株高が加速し、TOPIX、日経平均株価ともに史上最高値を更新する動きが連日のように続きました。米連邦準備制度理事会（FRB）が利下げを決定し、年内の追加利下げ観測が強まったことで投資家心理が一段と改善したほか、想定外となった日銀の上場投資信託（ETF）の売却開始決定も市場への影響は限定的にとどまり、株価はその後も上値を広げました。月末にかけては高値警戒感や期末の配当落ちの影響から伸び悩んだものの、全体としては史上最高値を更新する力強い展開が目立った月となりました。月間の騰落率は、TOPIX（配当込）が+2.98%、日経平均株価は+5.18%でした。

・当資料は、投資型年金 グッドステージ（新変額個人年金保険）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金 グッドステージ（新変額個人年金保険）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

●

特別勘定について

基本情報

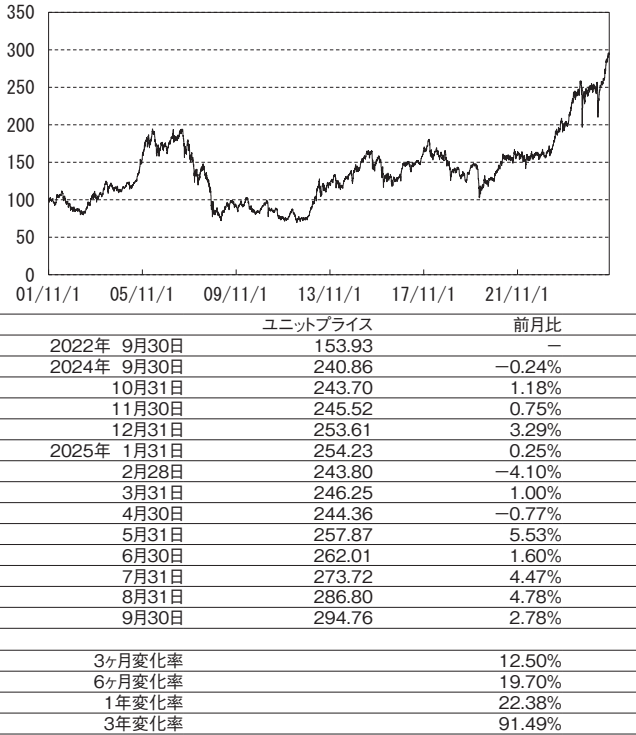
【特別勘定の設定日】2001年11月1日
【資産分類】日本株式
【運用方針】
日本の上場株式および店頭登録株式の中から、取得時にPERおよびPBR等の指標または株価水準からみて割安と判断され、今後株価の上昇が期待される銘柄に投資します。
【投資対象となる投資信託】
ダイワ・バリュー株・オープンVA（底力VA）

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	44	2.5%
有価証券等		
ダイワ・バリュー株・オープンVA(底力VA)	1,764	97.5%
その他	—	—
資産合計	1,809	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	1,809	100.0%

■ユニットプライスの推移



※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

●

投資対象となる投資信託について

ダイワ・バリュー株・オープンVA（底力VA）の基本情報

【運用会社】大和アセットマネジメント
【運用対象】日本株式
【ベンチマーク】TOPIX

運用状況

■資産構成比率（2025.9月末現在）

資産	構成比
国内株式	96.2%
国内株式先物	—
国内合計	96.2%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■上位5業種構成比（2025.9月末現在）

業種	構成比
1 銀行業	13.4%
2 電気機器	10.6%
3 情報・通信業	7.8%
4 輸送用機器	7.2%
5 機械	6.8%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■組入上位10銘柄（2025.9月末現在）

銘柄名	構成比
1 三菱UFJフィナンシャルG	4.7%
2 三井住友フィナンシャルG	4.2%
3 東京海上HD	4.1%
4 小松製作所	3.8%
5 日本電気	3.7%
6 住友電工	3.7%
7 トヨタ自動車	3.0%
8 ソフトバンクグループ	2.9%
9 アイシン	2.3%
10 丸 紅	2.2%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 109）

【運用会社による投資信託へのコメント】（2025.9月末現在）

<株式市況> 国内株式市場は上昇しました。自動車関税の引き下げに関するトランプ米大統領の署名を受けて不透明感が後退したことに加え、石破首相の辞任表明を受けて新総裁誕生への期待が高まり、月半ばにかけて大きく上昇しました。その後、日銀がETF・J-REITの売却方針を示したことで一時軟調な展開となりましたが、米国のAI・半導体関連株の堅調な動きや、新総裁・減税への期待が相場を支え、月末まで高値圏で推移しました。

<運用経過> ポートフォリオの構築に際しては、日米の政策の動向を勘案しつつ、今後の業績回復や好調な業績の継続性などに注目して銘柄を入れ替えました。また、自己株式の取得や配当金の増額などの株主還元を通じて、資本効率の改善が期待される銘柄に注目しました。具体的には、来期にかけての業績の回復や積極的な株主還元姿勢に注目した自動車関連株や、生成AIに関連する新製品の投入によってシェアの拡大が期待される半導体関連株、成長事業を抱える中で、課題であった石油化学事業の構造改革の実行に注目した化学関連株などのウェイトを上げました。一方で、株価上昇によって割安感が低下した電機関連株や、運賃の値上げによる業績の押し上げ効果が、当初の期待を下回る可能性が高まった運輸関連株などのウェイトを引き下げました。このような売買や株価変動により、業種構成では輸送用機器、情報・通信業、小売業などの比率が上昇し、機械、海運業、陸運業などの比率が低下しました。

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかにも保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

●

特別勘定について

基本情報

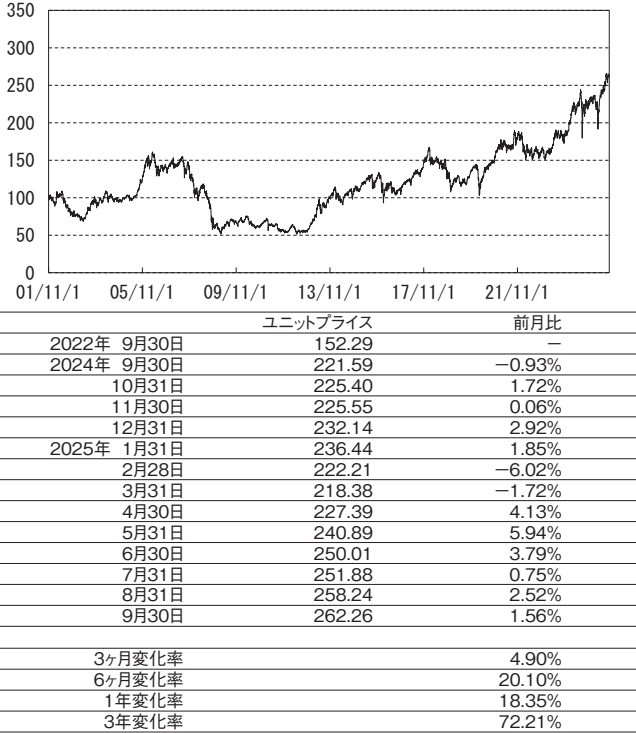
【特別勘定の設定日】2001年11月1日
【資産分類】日本株式
【運用方針】
日本の証券取引所上場株式を主要投資対象とします。ボトムアップアプローチを基本とし、各種投資指標から判断して割高と判断される銘柄を除外して投資します。
【投資対象となる投資信託】
ダイワ・ジャパン・オープンVA（D.J.オープンVA）

■特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	9	2.6%
有価証券等		
ダイワ・ジャパン・オープンVA (D.J.オープンVA)	335	97.4%
その他	—	—
資産合計	344	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	344	100.0%

■ユニットプライスの推移



※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

●

投資対象となる投資信託について

ダイワ・ジャパン・オープンVA（D.J.オープンVA）の基本情報

【運用会社】大和アセットマネジメント
【運用対象】日本株式
【ベンチマーク】TOPIX

運用状況

■資産構成比率（2025.9末現在）		■上位5業種構成比（2025.9末現在）		■組入上位10銘柄（2025.9末現在）	
資産	構成比	業種	構成比	銘柄名	構成比
国内株式	95.1%	1 電気機器	26.6%	1 ソニーグループ	7.9%
国内株式先物	—	2 機械	9.9%	2 住友電工	4.9%
国内合計	95.1%	3 情報・通信業	9.8%	3 リクルートホールディングス	4.6%
※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合		4 その他製品	8.3%	4 三菱重工業	4.5%
		5 サービス業	5.6%	5 キーエンス	4.2%
		※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合		6 アシックス	3.9%
				7 任天堂	3.7%
				8 アドバンテクト	3.6%
				9 三井不動産	3.6%
				10 富士通	3.3%
				※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 64）	

【運用会社による投資信託へのコメント】（2025.9末現在）

9月の国内株式市場は上昇しました。自動車関税の引き下げに関するトランプ米大統領の署名を受けて不透明感が後退したことに加え、石破首相の辞任表明を受けて新総裁誕生への期待が高まり、月半ばにかけて大きく上昇しました。その後、日銀がETF・J-REITの売却方針を示したことで一時軟調な展開となりましたが、米国のAI・半導体関連株の堅調な動きや、新総裁・減税への期待が相場を支え、月末まで高値圏で推移しました。
ベンチマークと比較して、業種では、電気機器や非鉄金属のオーバーウエートなどはプラスに寄与しましたが、その他製品のオーバーウエートや銀行業のアンダーウエートなどがマイナス要因となりました。個別銘柄では、今後の需要拡大に対する期待が高まった半導体関連銘柄などはプラスに寄与しましたが、事業環境の不透明感などが懸念された人材サービス関連銘柄や利益確定機運が高まった小売関連銘柄などがマイナス要因となりました。

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品は資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

● 特別勘定について

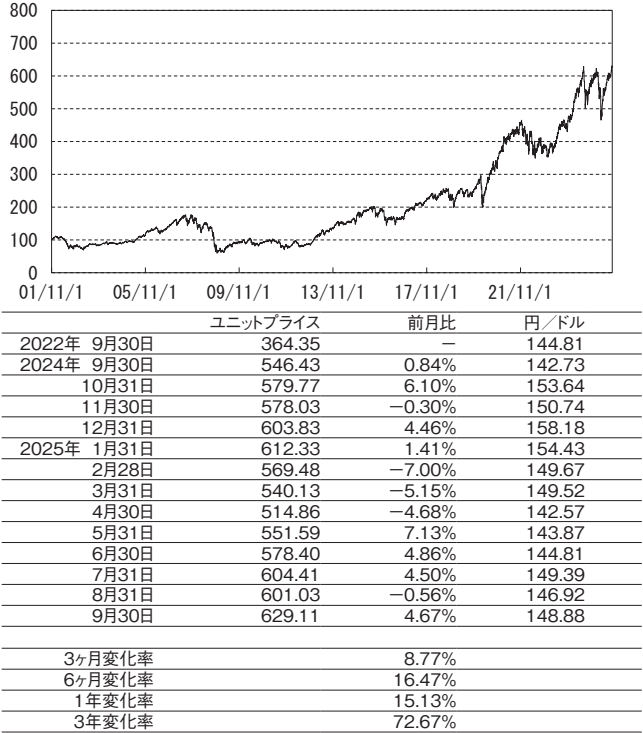
基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日
【資産分類】外国株式
【運用方針】
日本を除く世界主要国の株式に分散投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。原則として為替ヘッジは行いません。
【投資対象となる投資信託】
大和住銀／T. ロウ・プライス外国株式ファンドVA

■ 特別勘定 純資産総額の内訳（単位：百万円）

資産等の種類	金額	構成比
現預金	35	2.2%
有価証券等		
大和住銀／T.ロウ・プライス外国株式ファンドVA	1,559	97.8%
その他	—	—
資産合計	1,594	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	1,594	100.0%

■ ユニットプライスの推移



※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

● 投資対象となる投資信託について

大和住銀／T. ロウ・プライス外国株式ファンドVAの基本情報

【運用会社】三井住友DSアセットマネジメント
投資顧問：ティー・ロウ・プライス・アソシエイツ・インク
【運用対象】日本を除く世界各国の株式
【ベンチマーク】MSCIコクサイ・インデックス（円換算）

運用状況

■ 地域別内訳（2025.9月末現在）

地域別	ポートフォリオ構成比
西欧	18.1%
東欧	0.0%
中東	0.8%
アフリカ	0.0%
北米	62.9%
中米	5.8%
南米	0.0%
アジア	9.8%
オセアニア	0.0%
その他	0.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■ 業種別内訳（2025.9月末現在）

セクター	構成比
エネルギー	1.6%
素材	0.8%
資本財・サービス	8.6%
一般消費財・サービス	8.5%
生活必需品	3.2%
ヘルスケア	2.7%
金融	18.3%
情報技術	40.1%
コミュニケーション・サービス	11.9%
公益事業	1.7%
不動産	0.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■ 組入上位10銘柄（2025.9月末現在）

銘柄	国名	業種	構成比
1 NVIDIA CORP	アメリカ	情報技術	5.0%
2 MICROSOFT CORP	アメリカ	情報技術	4.7%
3 APPLE INC	アメリカ	情報技術	3.6%
4 ALPHABET INC-CL A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	3.3%
5 UNILEVER PLC	イギリス	生活必需品	3.2%
6 TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFAC	台湾	情報技術	2.8%
7 AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス	2.7%
8 META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	コミュニケーション・サービス	2.5%
9 BROADCOM INC	アメリカ	情報技術	2.2%
10 TENCENT HOLDINGS LTD	ケイマン諸島	コミュニケーション・サービス	2.1%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 87）

【運用会社による投資信託へのコメント】（2025.9月末現在）

世界金融危機後、低インフレと各国の金融緩和を背景に、成長株へ幅広く投資する戦略が高い有効性を示してきましたが、昨今では市場平均をやや上回る成長率を示す企業への投資では超過収益を得ることが難しくなっています。今、市場を牽引するのは、競争優位性が期待される企業であることから、高い収益力と価格決定力を持つ企業を見極めることがリターンを高める機会になると考えています。この先の見通しとしては短期的には世界的な景気刺激策や金融緩和が市場を支え、投資家がリスクを取る動きを後押しすると考えますが、長期的には財政膨張、債務増加、地政学リスク、さらに金融システム全体の安定性低下等が警戒されることから、それらの動向に注意を払ってまいります。

・当資料は、投資型年金 グッドステージ（新変額個人年金保険）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金 グッドステージ（新変額個人年金保険）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うこととなります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかは保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日

【資産分類】世界債券

【運用方針】

日本を含む世界主要国の国債等（国債、政府機関債、国際機関債）を中心に公社債に投資を行い、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。投資する公社債は、取得時において投資適格または同等の信用力を有するものとします。原則として為替ヘッジは行いません。

【投資対象となる投資信託】

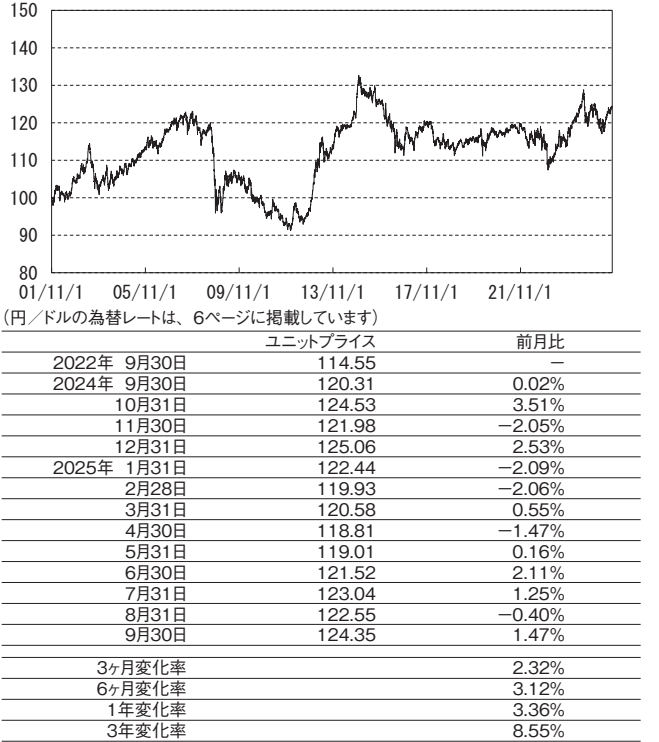
JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）

特別勘定 純資産総額の内訳

(単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	8	1.7%
有価証券等		
JDFワールド・ボンド・ファンド （為替ヘッジなし）	477	98.3%
その他	—	—
資産合計	485	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	485	100.0%

■ユニットプライスの推移



※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

JDFワールド・ボンド・ファンド（為替ヘッジなし）の基本情報

【運用会社】ブラックロック・ジャパン

【運用対象】日本を含む世界主要国の信用力の高い公社債

【ベンチマーク】FTSE世界国債インデックス（円ベース）

運用状況

■国別通貨別構成比率（2025.9月末現在）

	ベンチマーク	債券	通貨	ベンチマーク	債券	通貨
米国	41.8%	39.6%	41.0%	スウェーデン	0.2%	0.3%
カナダ	1.8%	2.8%	1.6%	スイス	—	0.0%
メキシコ	0.8%	1.9%	0.9%	ポーランド	0.6%	1.0%
南アフリカ	—	—	0.0%	ノルウェー	0.2%	0.3%
日本	9.4%	9.9%	9.8%	チェコ	—	0.1%
オーストラリア	1.1%	1.4%	1.4%	イスラエル	0.3%	0.4%
ニュージーランド	0.3%	—	0.3%	国際機関	—	—
シンガポール	0.4%	0.6%	0.4%	キャッシュ等	—	−7.2%
中国	10.3%	10.5%	10.3%	合計	100.0%	100.0%
マレーシア	0.5%	1.0%	1.0%			
韓国	—	0.6%	1.2%			
インドネシア	—	0.5%	0.9%			
ユーロ	27.1%	31.6%	26.7%			
英国	5.2%	3.0%	3.1%			
デンマーク	0.2%	0.3%	0.2%			

※ベンチマークはFTSE世界国債インデックス2025年10月の構成比率
※債券は発行国ベース、債券先物と金利先物（先物の売建てはマイナス表示）を含みます
※通貨は実質為替組入比率
※比率は対純資産総額、マザーファンドベース

■組入上位10銘柄（2025.9月末現在）

	国名	種別	利率	償還年月日	構成比
1	日本	国債	0.100	2031/9/20	3.7%
2	イタリア	国債	2.700	2030/10/1	3.4%
3	アメリカ	国債	1.625	2030/4/15	3.4%
4	フランス	国債	2.750	2029/2/25	2.3%
5	日本	国債	0.600	2033/12/20	1.9%
6	中国	国債	1.350	2026/9/25	1.4%
7	アメリカ	国債	3.625	2027/8/31	1.3%
8	スペイン	国債	1.400	2028/4/30	1.3%
9	日本	国債	0.800	2047/3/20	1.2%
10	アメリカ	国債	1.875	2035/7/15	1.1%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合（銘柄数 298）

修正デュレーション＝平均6.95年（ベンチマーク＝同6.70年）

・当資料は、投資型年金 グッドステージ（新変額個人年金保険）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。

・投資型年金 グッドステージ（新変額個人年金保険）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。

・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。

・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。

・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

世界バランス（A）

（2025年9月末現在）

特別勘定について

基本情報

【特別勘定の設定日】 2001年11月1日
【資産分類】 バランス
【運用方針】
日本を含む世界各国の株式、債券、短期金融商品に分散投資を行います。原則として為替ヘッジは行いません。
【投資対象となる投資信託】
フィデリティ・バランス・ファンドVA2

特別勘定 純資産総額の内訳

（単位：百万円）

資産等の種類	金額	構成比
現預金	11	2.4%
有価証券等		
フィデリティ・バランス・ファンドVA2	473	97.6%
その他	—	—
資産合計	485	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	485	100.0%

■ ユニットプライスの推移



（円／ドルの為替レートは、6ページに掲載しています）

	ユニットプライス	前月比
2022年 9月30日	152.03	—
2024年 9月30日	189.61	0.78%
10月31日	194.25	2.45%
11月30日	192.53	-0.88%
12月31日	197.18	2.41%
2025年 1月31日	194.20	-1.51%
2月28日	187.11	-3.65%
3月31日	186.77	-0.18%
4月30日	180.85	-3.17%
5月31日	186.52	3.14%
6月30日	190.84	2.31%
7月31日	195.03	2.19%
8月31日	197.01	1.02%
9月30日	199.72	1.37%
3ヶ月変化率		4.65%
6ヶ月変化率		6.93%
1年変化率		5.33%
3年変化率		31.37%

※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

投資対象となる投資信託について

フィデリティ・バランス・ファンドVA2の基本情報

【運用会社】 フィデリティ投信
【運用対象】 日本を含む世界各国の株式、債券、短期金融商品
【ベンチマーク】 複合インデックス（円ベース）
● TOPIX（配当金込）（25%）
● MSCIワールド・インデックス（除く日本／税引前配当金込）（25%）
● ブルームバーグ・グローバル総合インデックス（為替ヘッジなし、円ベース）（50%）

運用状況

■ 株式（2025.8末現在）

組入投資信託証券	構成比
フィデリティ・ジャパン・サステナブル・グロース・ファンド（適格機関投資家専用）	24.6%
フィデリティ・ファンズ・アメリカン・グロース・ファンド	19.7%
フィデリティ・ファンズ・ヨーロッパ・ダイナミック・グロース・ファンド	3.8%
フィデリティ・ファンズ・ヨーロッパ・スモール・カンパニーズ・ファンド	1.0%
フィデリティ・ファンズ・アジア・パシフィック・オポチュニティーズ・ファンド	0.9%
フィデリティ・ファンズ・アジア株式・ESGファンド	0.1%
合計	50.0%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■ 債券・短期金融資産等（2025.8末現在）

組入投資信託証券	構成比
フィデリティ・インスティテュショナル・グローバル・ボンド・ファンド（除く日本円、為替ヘッジなし、適格機関投資家転売制限付き）	46.6%
iシェアーズ・コア 日本国債 ETF	2.0%
合計	48.5%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■ 組入上位5ヶ国・地域（2025.8末現在）

国名	構成比
1 アメリカ	43.8%
2 日本	27.1%
3 ドイツ	9.8%
4 イギリス	5.3%
5 中国	2.4%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

■ 組入上位5通貨（2025.8末現在）

通貨	構成比
1 アメリカ・ドル	51.7%
2 日本・円	27.1%
3 ユーロ	11.7%
4 イギリス・ポンド	4.0%
5 中国・元	2.3%

※構成比はマザーファンド純資産総額に対する割合

・当資料は、投資型年金 グッドステージ（新変額個人年金保険）の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金 グッドステージ（新変額個人年金保険）は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって変動するリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほかに保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

● 特別勘定について

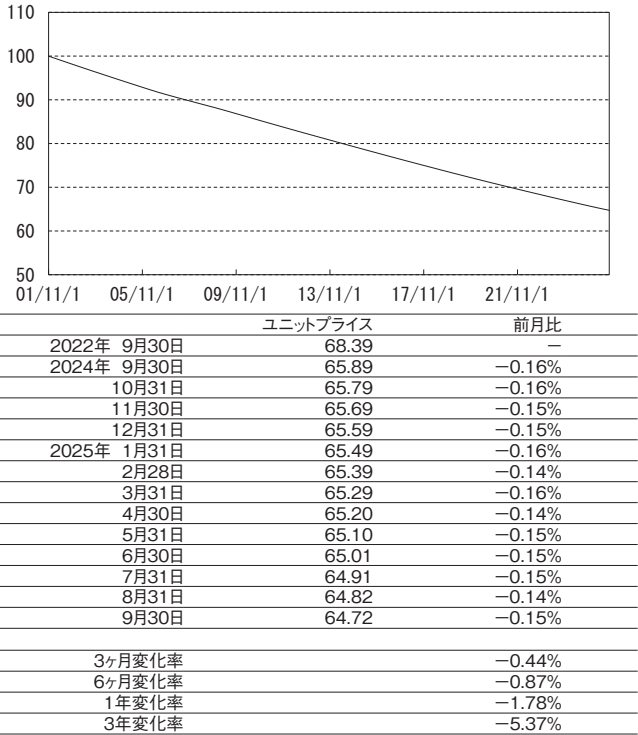
基本情報

【特別勘定の設定日】2001年11月1日
【資産分類】短期金融商品
【運用方針】
円建ての短期金融商品を中心に投資します。流動性に十分配慮し、リスクを抑えた安定的な運用を行います。
【投資対象となる投資信託】
マネー・オープン 他

■特別勘定 純資産総額の内訳 (単位：百万円)

資産等の種類	金額	構成比
現預金	154	37.6%
有価証券等		
マネー・オープン	255	62.4%
その他	—	—
資産合計	409	100.0%
負債合計	—	—
純資産総額	409	100.0%

■ユニットプライスの推移



※ユニットプライスは、小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。
※前月比・変化率は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

● 投資対象となる投資信託について

マネー・オープン 他の基本情報

【運用会社】大和アセットマネジメント
【運用対象】円建て短期金融商品
【ベンチマーク】特に定めない

・当資料は、投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)の各特別勘定について運用状況等を開示するためのものであり、生命保険契約の募集を目的としたものではありません。
・投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)は特別勘定で運用を行う商品です。また特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
・特別勘定の資産運用は経済、企業収益、金利、金融市場の環境によって値動きするリスク資産を投資対象としているため、高い収益性が期待できる反面、株価の下落、為替変動等によっては投資リスクを負うことになります。当商品では資産運用の結果が直接、死亡保険金額、解約払戻金額、将来の年金額等に反映されることから、資産運用の成果・リスクが直接ご契約者に帰属することになります。
・特別勘定のユニットプライスの動きは、特別勘定の主な投資対象となる投資信託の基準価額の動きとは異なります。これは、特別勘定が投資信託のほか保険契約の異動等に備えて一定の現預金を保有していることと、ユニットプライスの計算にあたり保険関係費用等を控除しているからです。また、ご契約者の積立金の増減とユニットプライスの動きは必ずしも一致するものではありません。これは、ご契約者の積立金を算出するためにはユニットプライスの増減に加えて、積立金移転費用、貸付利息等を控除する場合があるからです。
・当資料に掲載されている投資信託の開示情報は各運用会社により開示された情報を東京海上日動あんしん生命保険株式会社が提供するものであり、開示内容について東京海上日動あんしん生命保険株式会社は一切責任を負いません。
・当資料に掲載されている運用状況、財務諸表、投資信託の現況等は過去の実績を表したものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

投資リスクについて

この商品は、将来受け取る年金額、解約払戻金額、死亡保険金額等が特別勘定の運用実績に基づいて増減するしくみの生命保険です。特別勘定は投資信託を通じて国内外の株式・債券等に投資されますので、この商品には価格変動リスク・為替変動リスク・信用リスク・金利変動リスク等の投資リスクがあります。そのため、株価や債券価格の下落・為替の変動等により、年金、解約払戻金等のお受け取り金額が、お支払いいただいた保険料の合計額を下回る可能性があります。

ご負担いただく費用について

■運用期間中の費用（すべてのご契約者にご負担いただく費用）

項 目	費 用
保険関係費用(保険契約管理費)	特別勘定の純資産総額に対して年率1.85%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率1.485%(税込)程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.2の目次をご覧ください。

■お取引の内容による費用（特定の取引のご契約者にご負担いただく費用）

項 目	適 用	費 用
積立金移転費用	1 保険年度 12 回を超える積立金の移転の際	1 保険年度に 12 回までの移転…無料 1 保険年度に 12 回を超える移転…1 回につき 1,000 円
契約者貸付利息	契約者貸付を受けたとき	貸付金額に対して年率 1.85%
解約控除	解約するとき	積立金額に対して 7%～1%(経過年数に応じて)
	減額するとき	減額に相当する積立金額に対して 7%～1%(経過年数に応じて)

■年金支払期間中の費用（将来、以下の内容が変更になることがあります）

- 保証期間付終身年金、確定年金の場合

項 目	適 用	費 用
保険関係費用(年金管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	年金額に対して 1.0% 以内 (毎年の年金支払日に責任準備金から控除します)

- 特別勘定年金の場合

項 目	適 用	費 用
保険関係費用 (年金管理費)	特別勘定年金の維持管理等に必要な費用(基本保険金額を最低保証するための費用および災害死亡保険金などの費用を除きます)	特別勘定の純資産総額に対して年率 1.17%
資産運用関係費用* (資産運用管理費)	保険関係費用(年金管理費)以外で、特別勘定の運用に係わる費用として支払われます。	特別勘定の投資対象となる投資信託の純資産総額に対して上限年率 1.485%(税込)程度 各特別勘定により異なります。詳しくは、P.2の目次をご覧ください。

■ご負担いただく費用の合計額について

この商品にかかる費用の合計額は、上記「保険関係費用」「資産運用関係費用」の合計額となります(ただし、一定期間内の解約については「解約控除」、積立金の移転が1保険年度12回を超えた場合には「積立金移転費用」等が別途かかりますのでご注意ください)。

* 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、ご契約者はこれらの費用を間接的に負担することになります。なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

ご注意いただきたい事項

- 「投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)」は東京海上日動あんしん生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険(変額個人年金保険)です。
- 「投資型年金 グッドステージ(新変額個人年金保険)」には投資リスクがあり、投資リスクはご契約者に帰属します。場合によっては将来お受け取りになる金額が、払込保険料総額を下回る可能性があります。

【募集代理店】 大和証券 Daiwa Securities	【引受保険会社】 東京海上日動あんしん生命保険株式会社 ホームページ https://www.tmn-anshin.co.jp/ ご契約内容・各種手続きに関するお問合せ ☎ 0120-155-730 受付時間 平日 9：00～17：00 (土曜・日曜・祝日・年末年始を除きます。)
--	---